

可能性に 挑戦しよう、 一人ひとりが輝こう

校長 輿水秀志

いよいよ本格的な夏の到来ですね。南アルプスの玄関口の広河原では、6月27日に開山式が行われ、富士山も7月1日に山開きとなりました。昼間の青空や夏の大きな形が見られる夜空など、夏空は私達の心をなごませてくれます。また、巨摩高校への通勤途中では、真っ赤に熟した、たわなに実ったサクランボやスモモやモモなどの果実が目を楽しませてくれます。アサガオやカンナやサルビアやケイトウなどの美しい花の咲いている家もあり、「ああ夏なんだ」と実感しています。

さて、巨摩高校では新学期がスタートして100日ほどが過ぎようとしています。校内を巡回しますと、全校生徒が静かに読書をしていたり、熱心な指導を展開する教師達の授業を真剣

に受けている姿が目に入ります。そして放課後は、部活動等の明るいかけ声や美しい音楽が聞こえ、多くの生徒達が明るい笑顔であいさつをしてくれま

す。生徒達の生懸命取り組みに、姿や笑顔を見るたびに、嬉しくなるとともに満足感を覚えます。毎週土曜日の午前中は、外部講師にさまざまな講義をしていただいています。今年度新たに高大連携もスタートし、山梨大学工学部の先生方に巨摩高校の実験室等において、1年生を中心に最先端の科学についての実験や講義や学科紹介などをしていただいております。

このように巨摩高校生がほんとうに良く頑張った100日でしたが、日々の小さな努力の積み重ねが信じられないくらい大きな力になります。そして並行していくつかの活動をこなしていく経験が社会に出てから必ず役に立ちます。とにかく何事も一生懸命に取り組み姿は美しいですし、大きな感動を与えてくれます。皆さん、これから皆さんの良さを発揮して何事にも一生懸命取り組みましょう。

7月上旬記



奏

第55回 白嶺祭

6月24日(水)・25日(木)

KANADE

特集 01

大変だったことも、
楽しかったことも、
本当にたくさんありました。
巨摩高生、一人ひとりの
エネルギーがはじけ、
最高~!! だった2日間。



第55回白嶺祭が、「奏(かなで)」をテーマに6月24日(水)、25日(木)の2日間開催されました。桃源文化会館で行われた1日目は、オーブリングに続き、音楽部、箏曲部、吹奏楽部の発表と、1・2年生のクラスパフォーマンスがありました。

2日目は、体育館で3年生のクラスパフォーマンス、進修館で美術部、写真部、華道部、自然科学部の展示や、茶道部の呈茶が行われました。また各教室では、学年ごとに決められたテーマに沿って、展示をしたり体験コーナーを設けたりと、それぞれに工夫を凝らしたクラス企画が催されました。

地域の養護老人施設のお年寄りを招待しての交流も行われ、ボランティア委員の案内で文化部の展示や箏曲部の演奏、合唱などを楽しんでいただきました。

さらに、全校生徒が協力して制作した牛乳パックの巨大壁画が校舎前面を飾り、エンディングでは担任の似顔絵をベースにしたクラス旗紹介もあり、大いに盛り上がった2日間でした。

巨摩高にゆーす

インターハイ・全国大会出場!! それぞれのステージでがんばる巨摩高生。

6月に行われた関東大会において、ホッケー部が1997年以来となる優勝(決勝中止による2校優勝を除く)でインターハイ出場を決めました。陸上部では、野澤啓佑君が400m障害で優勝、平澤大貴君が走り高跳びで4位に入賞しました。自転車競技ケイリンに出場した新井僚太郎君は3位、さらに、弓道のインターハイ県予選個人戦では、秋山未来さんが2位、望月菜央さんが3位と健闘しました。いずれも8月に奈良県で行われるインターハイへ出場します。また、NHK杯全国高校放送コンテスト県大会で、増山彩乃さんが朗読部門3位に入賞し、全国大会に出場することになりました。



KOMA KOU NEWS